

令和2年度 事務事業総点検シート(1)
[令和元年度事務事業]

一般会計					事務事業分類	A 一般事務事業		
事務事業名	学校規模の適正化事業				シート番号	038-116		
担当部署名	教育委員会事務	局	学校管理	部	教育環境整備推進室	課	評価責任者(課長名)	南

Ⅰ. 基本情報

基本情報	1	堺市マスタープランの政策体系に基づく事業の位置付け	政策	3	次代を担う子どもを健やかにはぐくみます		後期実施計画の位置付け	
			施策	4	教育・生活環境の充実		無	
	2	事業開始年度	平成 14 年度		終了(予定)年度	— 年度		
	3	根拠法令等 (法令、条例、規則、要綱等)	第2期未来をつくる堺教育プラン					
	4	関連計画						
5	事業実施の経緯	教育的観点から、学校は一定の集団規模が確保されていることが望ましいが、児童生徒数の減少に伴い、小規模化している学校がある一方、住宅開発により大規模化している学校が生じてきている。						

Ⅱ. 事業概要

事業概要	6	事業の実施主体 (誰が実施しているのか。)	<input checked="" type="checkbox"/> 本庁 <input type="checkbox"/> 各区 <input type="checkbox"/> 出先機関 () <input type="checkbox"/> 市外郭団体 <input type="checkbox"/> 地域団体・市民 <input type="checkbox"/> 民間企業・NPO <input type="checkbox"/> その他 ()					
	7	事業の対象 (誰を、何を対象としているのか)	市立小中学校					
	8	事業の目的 (どのような状況にしたいのか)	学校規模を適正化することにより、学校規模に起因する様々な教育課題や学校運営上の課題を解消し、教育環境の充実と子どもたちの健全な成長を図る。					
	9	事業内容 (スケジュール、実施方法・手段、事業ボリュームなど)	小規模校については、すべての学年でクラス替えが可能となるよう、再編整備を進める。大規模校については、その解消の方策を検討する。					
10	直接実施以外の主な支出先	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 補助金 <input type="checkbox"/> 負担金 <input type="checkbox"/> その他 ()						

Ⅲ. 投入量

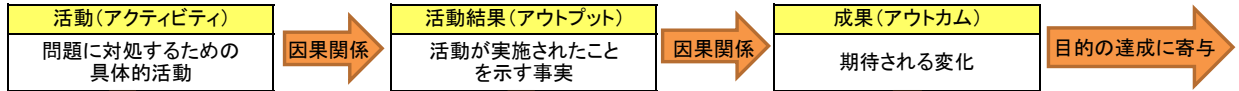
項目	単位	平成29年度		平成30年度		令和元年度		令和2年度	
		予算	決算	予算	決算	予算	決算	予算	
11	事業費 (a)	千円	3,043	1,320	176	17	31	21	153
主な事業費内訳	旅費、需用費、役務費	千円	2,938	1,277	176	17	31	21	153
	委託料、使用料及び賃借料等	千円	105	43					
	その他(負担金等)	千円							
	()	千円							
財源内訳	国・府支出金	千円							
	受益者負担金(使用料、手数料等)	千円							
	市債	千円							
	その他()	千円							
	一般財源	千円	3,043	1,320	176	17	31	21	153
12	人件費 (b)	千円	12,330	12,330	12,765	12,940	11,655	11,655	11,740
13	総コスト(c)=(a)+(b)	千円	15,373	13,650	12,941	12,957	11,686	11,676	11,893

令和2年度 事務事業総点検シート(2)

事務事業名	学校規模の適正化事業	シート番号	038-116
-------	------------	-------	---------

Ⅳ. 評価(測定・分析)》

ロジックモデルの考え方



[14] 令和元年度実績の欄に定性的・定量的情報も含め、活動・結果・成果について具体的に記載

[15] または [16] に定量的な指標、または定性的な目標を記載

【達成率に基づいた評価基準】

評価	達成率
大変良い	120%以上
良い	100%以上120%未満
普通	80%以上100%未満
少し悪い	60%以上80%未満
悪い	60%未満

事業の活動実績や成果

令和元年度実績							
活動実績と成果	14	平成28年から開催している原山台小学校と原山台東小学校の再編整備懇談会を計3回実施し、懇談会委員の意見を聴きながら、通学路の整備や安全対策を講じたうえ、原山ひかり小学校を新校地へ移転することができた。また、次期再編整備対象校の調整に向けて、小規模校へのヒアリングを順次実施し、学校や保護者、地域の現状を把握した。					
	15	指標名【活動指標】	単位	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
		再編整備懇談会実施回数	目標値	10	4	3	-
			実績値	10	4	3	
			達成率	100%	100%	100%	
	評価		良い	良い	良い		
	算出方法・設定根拠など		次期再編整備校を検討中のため。				
	16	単位	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	
		目標値					
		実績値					
達成率							
		評価					

事業の効率性

		区分	単位	平成29年度	平成30年度	令和元年度
17	①	再編整備懇談会	回	10	4	3
	②	上記①にかかる年間経費	千円	13,650	12,957	11,676
	③	単位当たり経費(②÷①×1,000円)	円/単位	1,365,000	3,239,250	3,892,000
	備考(算出についての説明等)					
		区分	単位	平成29年度	平成30年度	令和元年度
18	①					
	②	上記①にかかる年間経費	千円			
	③	単位当たり経費(②÷①×1,000円)	円/単位			
	備考(算出についての説明等)					

業績の分析

目標を達成できた、または達成できなかった要因や効率性についての分析 (その他、関連情報に基づいた分析)	
19	再編整備懇談会での意見や要望に対して、関係課と連携のうえ対応を検討するとともに、再編整備懇談会を開催し、学校や保護者、地域の代表による理解を得られるように努めたことで、原山ひかり小学校を新校地へ移転することができた。

- 【分析のチェックポイント】
- 事業の達成度はどうでしたか。
 - 5W2Hを踏まえて、実施過程に問題はありましたか。
 - 資源投入は適切でしたか。
 - 事前想定できない外的要因の影響はありましたか。
 - 有効性は高いですか。低いですか。
 - 効率性は向上していますか。
 - RPA等をはじめとするICTを活用する余地はありましたか。
 - ターゲットに応じた最適媒体の選定など、戦略的な広報ができていましたか。

令和2年度 事務事業総点検シート(3)

事務事業名	学校規模の適正化事業	シート番号	038-116
-------	------------	-------	---------

《V. 点検》

＜点検の前提＞

- 新型コロナウイルス感染症の影響により、本市の財政運営は今後一層厳しくなる
- 新型コロナウイルス感染症拡大防止と社会経済活動の両立をめざす

○上記「点検の前提」を踏まえ、事業の抜本的な見直しを検討するもの。

⇒

<input checked="" type="checkbox"/>	確認
-------------------------------------	----

コロナ禍を踏まえた点検（必要性・有効性・効率性）	20	本市財政運営が厳しくなることが想定される中、当該事業を廃止できないか。	事業廃止の可能性 <input type="checkbox"/> 廃止できる <input checked="" type="checkbox"/> 廃止できない	廃止した場合に市民生活等に及ぼす具体的な影響 児童生徒が集団の中で、多様な考えに触れ、認め合い、協力し合い、切磋琢磨する機会がなくなる等の課題が解消できず、教育環境の充実ができない。
	21	(20で廃止できるを選択しなかった場合) 本市財政運営が厳しくなることが想定される中、当該事業を休止(延期)できないか。	事業休止の可能性 <input type="checkbox"/> 休止(延期)できる <input checked="" type="checkbox"/> 休止(延期)できない	休止した場合に市民生活等に及ぼす具体的な影響 少子化に伴う学校の小規模化へ早急に対応する必要がある。 休止の場合の再開時期 <input type="checkbox"/> 令和2年度中 <input type="checkbox"/> 令和3年度 <input type="checkbox"/> 令和4年度以降
	22	(20で廃止できるを選択しなかった場合) 本市財政運営が厳しくなることが想定される中、事業規模を縮小するなど、コスト縮減を図ることができないか。	コストの縮減 <input type="checkbox"/> 一部廃止しコスト縮減できる <input type="checkbox"/> 一部休止しコスト縮減できる <input type="checkbox"/> 規模等を縮小しコスト縮減できる <input type="checkbox"/> 事業手法等を改善しコスト縮減できる <input checked="" type="checkbox"/> 縮減できない	縮減できる場合は具体的な縮減内容、できない場合はその理由 再編整備懇談会を開催するにあたり、懇談会委員への案内状を送付する際の通信費として必要な経費である。
	23	(20で廃止できるを選択しなかった場合) 社会経済活動の維持・回復のほか、3密を避けるなどの市民や民間の活動変容への対応に向け、実施手法を改善する必要がないか。	事業手法の適切性 <input checked="" type="checkbox"/> 改善する必要がある <input type="checkbox"/> 改善する必要がない <input type="checkbox"/> 既に対応できている	改善する場合は改善策、その他は理由 再編整備懇談会を開催する際には、マスク着用を義務付け、消毒液の設置、換気を行い三密を避けるようにする。
	24	(20で廃止できるを選択しなかった場合) 効果的・効率的な事業の実施に向け、右に掲げる視点から改善できないか。	効果的・効率的な事業実施(以下の観点で、改善する(または改善済)場合は■、改善しない(改善余地がない場合を含む)場合は□) ① <input type="checkbox"/> 公民連携の推進 ② <input type="checkbox"/> ICT活用による効率化 ③ <input type="checkbox"/> 他部局との適切な連携・役割分担 関係部署名 () 関連事業名 () ④ <input type="checkbox"/> 国・府等との適切な役割分担・連携 ⑤ <input checked="" type="checkbox"/> 他政令市等との比較におけるサービス水準の均衡 ⑥ <input type="checkbox"/> その他()	理由・説明 小規模校の再編整備を推進していくためには、他政令市の学校規模適正化に関する条例、基本方針、適正化の手法を情報収集することによって、本市における小規模校の再編整備に係る業務の改善を図る。
25	これまでの点検を踏まえ、今後の事業のあり方についてどのように考えるか。	事業の方向性 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止または延期 <input type="checkbox"/> 事業を縮小 <input type="checkbox"/> 改善して継続 <input checked="" type="checkbox"/> 現状を継続 <input type="checkbox"/> 事業を拡充 公金投入の方向性 <input type="checkbox"/> ゼロ <input type="checkbox"/> 縮小 <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 拡大	実施年度 <input type="checkbox"/> 令和2年度 <input type="checkbox"/> 令和3年度 <input type="checkbox"/> 令和4年度以降	
		所見 小規模校では、子どもたちの発表や活躍の場が多くなり、教職員もきめ細かく関わりやすいなどの利点がある一方で、児童生徒が集団の中で、多様な考えに触れ、認め合い、協力し合い、切磋琢磨する機会が少なくなる課題が考えられる。これらの課題を解消し、子どもたちにとってより良い教育環境を整えるためには、学校規模の適正化を進める必要がある。		